

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2020. No.357 4  
ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています



## Contents

国連統計 世界の栄養不足人口が増加傾向

ボリビア：小西スタッフ連載⑮

西南学院大学ボランティア・ワークキャンプ

参加者体験記 FHフィリピン活動地 P.4-6

ハンガーゼロを応援…みなさんの広場 P.7

「チャリティーボウリング」で支援継続

フィリピンの子供たちと交流する西南学院大学生





# 世界の栄養不足人口が増加傾向に

## FAOが新たな統計データ「栄養不足蔓延率」を発表

現在世界人口の9人に1人、8億2000万人以上が飢餓に苦しんでいます。

FAO(国連食糧農業機関)が毎年発行する報告書「世界の食糧安全保障と栄養の現状」では、この2年間、世界の栄養不足(十分な食料を取ることができない状況が最低1年以上続く状態)の蔓延率は過去数十年に亘る減少傾向が止まり、11%をわずかに下回る横ばい傾向にある中、慢性的な栄養不足(飢餓)がゆるやかに増加していることを示しています。アフリカ地域では栄養不足蔓延率は他の地域に比べて最も高く、約20%、ラテンアメリカ・カリブ海諸国は7%から緩やかに上昇しています。アジアでは11%が栄養不足であり、南アジアの栄養不足蔓延率は約15%となっています。

一方、必ずしも飢えに苦しんでいるわけではないが、栄養価の高い十分な食料を定期的に入手できず、栄養不良や健康不良の危険性が高まっている人は、13億人といわれています。中及び重度の食料不安蔓延率を合計すると、世界人口の26.4%、約20億人が安全で栄養価の高い十分な食料を定期的に入手できていないと推定されています。

### 中所得国で飢餓が増えている

FAOが報告した、「栄養不足蔓延率」という新しいデータは、経済が低迷あるいは後退した多くの国、主に中所得

得国で飢餓が増えていることを裏付けています。

栄養不足蔓延率が増加したのは2013年に5カ国(アフリカ3、アジア2)だったのが、2016年には26カ国(アフリカ9、アジア9、ラテンアメリカ・カリブ海5、オセアニア2、東ヨーロッパ1)に増加しているのです。

この状況は、世界193カ国が参加する国連のSDGs(持続可能な開発目標)のターゲット2『2030年までに飢餓をゼロに』の達成への大きな課題となっています。



### SDGsへの取り組みを広げよう

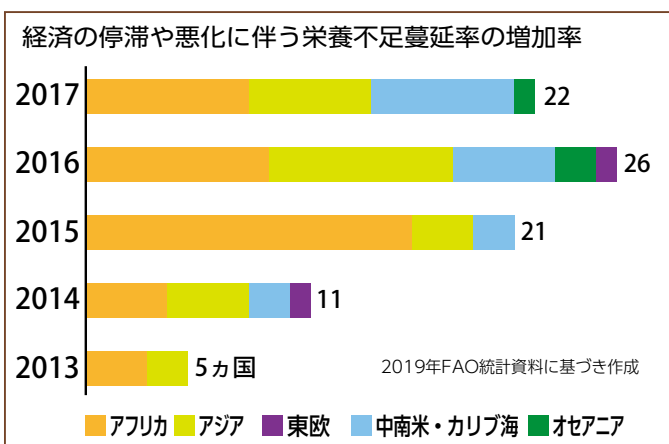
日本では今年外務省が「SDGsアクションプラン2020」を打ち出し、国際社会に対して日本もSDGsの取り組みを共有しながら様々なイベントやサミットが開催されるとのことです。

私たち一人一人も毎日の生活の中でこの課題に取り組み、「わたしから始める、世界が変わる」に参加することができます。まずは飢餓に苦しむ人々に関心を持って、ハンガーゼロが発信するニュースレターやホームページをご覧ください。「わたし」にできるアイデアが浮かんでくることでしょう。



大阪の八尾トリー住器では建築業界におけるSDGsに取り組み、啓発と支援活動を実施

ハンガーゼロは世界の飢餓をゼロにするチャレンジを続けています。あなたもサポーターになって貧困・飢餓のない世界の実現を応援ください。ウェブサイトには各種情報を掲載しています。また募金をすることもできます。





〈NL3月号からの続き〉

昨年2019年10月20日以降、ボリビア全国で政府支持派と反政府派市民の衝突が続き、全国（9州）の国家警察が反政府派を抑圧、多くの血が流されました。「今や大統領の永年の独裁政治が確立され、ボリビア人の人権と自由が奪われてしまう!」と多くの人々が思ったその時、私が住むコチャバンバの国家警察の一部が“我々は（反政府派）市民擁護側につく”という声明を発表、国家の命令に反した行動に出たのです。

それを機に各州の警察隊が次々と「(横暴な権力者ではなく)ボリビアと市民を守る!」との意思を表明し、事態は急展開。そして慌てたエボ・モラレス大統領は多額のわいろを国軍のトップに渡して反政府派市民の鎮圧を要請しました。兵器・武器を駆使する国軍が動けば警察や一般市民には成すすべもありません。「今度こそ万事休す!」と誰もが思いましたが、国軍トップの将軍はお金を受け取った後、政府を支持せず沈黙を守ったのでした。

やがて警察と反政府派が政府支持派を圧倒しはじめ、11月10日米州機構(OAS)は、選挙に多くの不正行為があったため選挙のやり直しを勧告しましたが、反政府派は大統領の辞任を求めました。その後政府高官等の辞任が相次ぎ、国軍や国家警察も大統領に辞任を勧めた為、大統領と副大統領が辞任を表明したのです。

## 変わるもの と 変わらないもの



ボリビア多民族国  
駐在 小西小百合



### トラック2台分の現金と亡命

この日、ボリビア中に反政府派市民の勝利の歓声が上がりました。国家警察が反政府派擁護についたわずか3日後のことでした。エボ元大統領はその夜亡命。ボリビアのSNSには、彼の指示で国家銀行からトラック2台分の現金が引き出されて大統領専用機に運び込まれ、彼が乗るメキシコ大使館専用機に運ばれる映像等が流れました。そして初の女性大統領の暫定政権発足。その後政府支持派の暴動を防ぐ為に国軍が昼夜を問わず警察と協力して市民を守ったのです。

この間各県をつなぐ主要幹線道路の封鎖、近隣諸国との国境閉鎖、首都の国際空港の一時閉鎖等の為に食料やガスが枯渇状態になった市があった他、各地で放火・殺人・略奪・強盗等もあり、市民生活に多大な影響を及ぼしました。結果的に35名が死亡、負傷者は832名と報告されています(注1)。

FHボリビアは約3週間支援地での活動を停止せざるを得ませんでした。ハンガーゼロの支援地はこれらの衝突があった都市から遠く離れていたたので、様々なうわさに不安な日々を過ごしたものの、サポートチャイルドとその家族、またスタッフたちは無事で、神様の守りを感謝しました。

今回多くの犠牲が払われました。しかし人々の「人権と自由を死守する強い意志」が変わらない限り、これからも危険をものとわぬ勇氣ある行動を人々はとられることと思います。ボリビアの真の平和と正しい政治のために引き続き祈り、見守っていきたくと強く願っています。

※前編はホームページでご覧になれます。

(注1) ボリビア国国民保護局発表





## 西南学院大学

# 海外ボランティア・ワークキャンプ参加者体験記 フィリピン 2020/2.21-3.2

西南学院大学（福岡市）の学生15名が、海外研修でFHフィリピンの活動地ブラカン州サンマテオを訪問。ハンガーゼロがサポートしました。ボランティアワークや1日生活体験を通して貧困の現実を知り、それぞれが多くの気づきを与えられました。6名の学生さんの体験記です。



### 私たちが見失っているもの

下川祥子 経済学部 経済学科

私がこのボランティアに応募した理由は、「自分なりの幸せのかたち」を見つけるためです。SNS※が発達した今、私を含め多くの方がSNSに縛られて毎日の生活を送っているのではないのでしょうか。SNS上の投稿を見て周りの人と比較し空虚感を感じている若者が増えてきているのが現状です。SNSに縛られている私たちが見失っている「幸せ」とは

ンに来て、目に見える「裕福」ではなく、人が生きていく上で最も大切にしなければならない『心の豊かさ』では、圧倒的に私たちよりも「裕福」なのではないかと感じました。

不便な面もありましたが、現地の方の笑顔・愛が伝わってきてとても心が温くなる日々を送ることができました。「周りと比較しなくていい。心の底から笑い、愛をもって人と接すること」を改めて思い返させられる11日間でした。

### 「Thank You」の言葉の重さ

瀬戸口未来 文学部 外国語学科

11日間活動したことはどれも濃い内容で心に残りました。そのなかでも一番印象に残っている活動は地域での1日体験です。私は、国際飢餓対策機構（FH）のお母さんたちと一緒に貧困地域の家を数十件回り子どもたちの身長と体重



何なのか、現地の方は貧しい生活の中で何に対し「幸せ」を感じているのか知りたいと思い活動に参加しました。

活動では、教会の施設のリノベーション作業や各家庭のお仕事のお手伝いをさせていただきました。訪れた場所はお手洗い・お風呂も必ずしも綺麗といえるような場所ではありませんでした。しかしそこで子どもたち、同世代の子と時間を共有していくうちに気づかされたこと、それは「常に心から笑顔でいること」でした。彼らは一日のうちに何度笑うのだろうと思ってしまうほど子どもから大人まで楽しそうに周りの方と接していました。

私たちの多くは、「きれいな場所に住んでいることは当たり前」「お金持ちになることが幸せ」「他人と自分を比較して人より上に立った感覚になった時、幸せを感じる」など、周りといつの間にか競争をして笑顔を忘れ、普通の日常を当たり前と思いついでいるのではないのでしょうか。フィリ



を測るといふ活動をしました。山の中や崖の上など「こんなところに人が住んでいるのか」というような場所に家があり、実際にその家庭の現状を目の当たりにした時は言葉を失うほどでした。近くに飲める水もなく、家の壁は竹でつくられてあり、キッチンは外にあり、紙パックジュースの紙の部分で床やカーテンの代わりにして生活していました。そんな厳しい環境のなかでFHのお母さんたちはずっと笑顔で活動していました。この活動を無償で3カ月に1回行っていると知り、本当に助けたいという思いなしではこの活動はできないと感じました。「Thank You」と言われるのが



私たちのやりがいだよ」と彼女たちは教えてくれました。この言葉はボランティア活動でよく耳にしますが、この言葉の重さを身に染みて感じました。

また、自分自身がどれだけ恵まれた環境で育ってきたのが改めて実感しました。自分の生きている世界の小ささ、今いる環境のありがたさを痛感しました。そして、お金＝幸せとは限らないこと。このことはフィリピンの人たちと接するたびに感じました。ある程度のお金は生きるためには必要です。しかしそれ以上に、「毎日毎日を自分らしく楽しむこと」の大切さをこの体験で教えてもらいました。

この海外ボランティアを自己満足で終わらせないためにも、自分の目で見たもの体験したもの感じたものを多くの人に伝え続けて、毎日を大切に過ごしたいと思います。

## 過酷な生活を目の当たりに

高下比呂 経済学部 国際経済学科

フィリピンの人々の生活を実際に目で見てみたい、という思いでこのボランティア・ワークキャンプに参加しました。私がこのボランティア・ワークキャンプで重視していたことは、人に何かをしてあげるということではなく、現地の人々に寄り添うということでした。

私がフィリピンで生活する中で、気付いたことの1つは、人々の生活は過酷だということです。私は、地域の1日体験で現地の人々の家を訪ねました。そこで、バナナ狩りの体験をさせていただきました。バナナの樹は山の斜面に立っていて、その場所まで歩いて山を下りていきました。ただでさえ急な山の斜面で危険であるにも関わらず、雨が降った後だったため、地面はぬかるんでいて滑りやすく、より



一層危険でした。案内して下さった現地のお母さんは、サンダルでスタスタと山を下りていたので、本当に驚きました。バナナの樹は想像以上に堅く、かなり力を込めなければ切り倒すことはできませんでした。また、タロイモを洗う作業をさせていただきました。芋の泥を落とし、周りにあるスジを取るのですが、始めは手ではなく足で洗うということに衝撃を受けました。芋はかなりのたくさんの量がありましたが、子どもたちが学校に行っている間、お母さんはこの作業を一人でしていると聞きました。実際に現地で暮らす人々の生活を目で見て、生活の過酷さを知りました。

フィリピンの人とふれあってみて、フィリピンは自分を受け入れてくれる場所だと思いました。活動が終わるとき教会で自分の隣に座っている子どもが泣いている姿を見て、私も自然と涙が溢れ出てきました。このように、素の自分、ありのままの自分であることができたのは、フィリピンで11日間を過ごしたからだと思います。

## 日本人としての衝撃と痛み

山口温菜 法学部 法律学科

今回の研修で私に強烈な印象を残した1つ目は、日帰りのホームステイ先のお母さんとの出会いである。それは、「I'm poor」という言葉である。私はこの言葉に対して、貧しい、悲しいというイメージを抱いていたが、その方はその言葉を満面の笑顔で言われたのである。笑顔と豊かさが比例すると思っていた私には、「I'm poor」という言葉と笑顔が結びつかず、強烈な印象を受けた。その方が最終日に会いに来てぎゅっと抱きしめてくれた温かさを私は忘れない。

もう1つは、戦時中に亡くなったフィリピンの方を覚える場所を訪れたことである。私は沖縄や広島での平和研修に参加したが、そこは日本が被害者であった。しかしフィリピンで初めて、日本が加害者であることを痛感する場所を訪れた。私はそこで日本が外国にしたことを目の前で突きつ



けられたのである。衝撃と痛みを覚えた。フィリピンの方が話しぶりがいいけど、と言いながら歴史を教えてくれた最後に、「あなたがたに申し訳ないと思ってほしくない。日本はフィリピンに対して酷いことをしたかもしれないけれど、その後たくさん良いことをしてくれた。」と言われた。私はその話を聞いて、申し訳ないと思うと同時に、自分が知らなかったことを恥ずかしく思った。その後フィリピンと日本の友好の象徴として握手をした。その手がとても温かく、大きな赦しで包まれたような気がした。握手してもらったこと、お母さんに抱きしめてもらったこと、それは全てを包んでくれるような温かさであった。

私は、11日間の活動の中で、多くの素晴らしい経験をし、多くの人に出会うことができた。このことに感謝するとともに、私にとって、フィリピンが遠い国ではなく、あの温かさがある場所になった。





## 私の当たり前が通じなかった

河津菜々子 文学部 英文学科

マニラ空港に着いた時、フィリピンって綺麗じゃん！めっちゃくちゃ都会！と思ったのが私の本音でした。しかし車を走らせると道もだんだんと細くなり、薄暗くなってきました。約3時間車に乗って到着した町で一番衝撃的だったのが水回りで、トイレは便座がないと聞いていたものの、お風呂がシャワーではなく、蛇口からトイレを流す水と同じ水ということでした。

活動で初めてペンキ塗りをして、塗るところが多く、天井を塗るときは身体がきつかったですが、現地の方が丁寧に教えてくれました。この作業を同世代の子が慣れた手つきでやっているのを見て、これはこの町にとって当たり前のことなのだと思います。作業中に「専攻は何」



と聞かれ、英文学と答えると「なら将来は先生になるの?」と言われました。違うよと答えると相手は驚いていて、「ならなぜそれを専攻したの」と聞かれ、文学を通して文化を学んでいる、と答えても納得して貰えませんでした。この方たちは将来したいことが決まっているから大学に行くんだ、と大学に入ってから将来することを決めようと思っていた私は恥ずかしく思いました。

また屋台で春巻きのような食べ物をお仕事を体験させていただきました。その家のご主人は以前日本に出稼ぎにいており、次はまた他の国に出稼ぎに行くと言っていました。小さい子どもが3人いるのに離れて暮らして家族を養う大変さを知りました。

フィリピンの方は教会に集まって、家族のように隣人と仲が良く、子どもたちも全員顔見知りで友だち。教会のような機会があるため笑顔が多くていつも幸せそうに過

ごしているのではないかと思います。

日本では当たり前なのが当たり前ではないということが、この活動で改めて実感したし、笑顔でいることは自分もそして周りの人も幸せにできる力を持っていることが分かりました。

## これこそが幸せの原点では

木下実紘 人間科学部 社会福祉学科

「幸せはいつも自分の心が決める」相田みつを

この言葉のように、幸せは、周りの環境によって決まるものではなく、自らが作り出すものであることを、フィリピンの人々との出会いを通して学び、実感できたように思います。

ボランティアに参加する前は、日本のような快適な環境が幸せの土台にあると感じていました。食べ物がおいしい、学校に通える、衛生環境が整っているなどが幸せの基準の多くを占めていました。そのため「貧困」という現実、幸せから遠いところにあるような感覚が自分の中にあっただような気がします。しかしフィリピンの人々は、



底抜けに明るく、優しく、そしていつも笑顔でした。私の中の、暗く閉ざされたような貧困のイメージは大きく覆されました。そして今まで、モノや他者との比較によって幸せを感じていた自分にも気づかされました。言い換えれば、自分がないものや自分ができないことばかりに注目し、コンプレックスを抱いたり、嘆いたりすることが多く、本当の意味で自分自身の幸せを感じる事ができていないのではないかと、ということに気づかされた気がしたのです。フィリピンの人々のようにいつも明るく、小さなこと一つ一つに喜びを見出す生活こそが幸せの原点なのではないかと思えました。

また、私にとって今回の参加は大きな挑戦でした。私は周りの目を気にし、自分で行動範囲を狭めるようなところがあり、これまでなかなか新しいことにチャレンジすることができませんでした。そんな自分を変えたいという思いから応募したこのボランティアでしたが、多くの人々との出会いや現地でしか得られない貴重な経験など、そのすべてが私の人生の財産になりました。私自身の幸せの在り方を見つめ直し、周りに幸せを与えられるような人になりたいです。



りてそん  
李泰誠さんは飢餓に苦しむアフリカの子どもたちを助けたいと、2008年当時の勤務先・山中鍼灸整骨院（東大阪市）の応援で「チャリティーフットサルカップ」を計10回開催し、食料支援として約200万円の募金を寄せてくださいました。現在、大阪市内で立ち飲み屋を営む李さんが昨年末、新たに「チャリティーボウリング」を主催され、33万5千円の募金を頂きました。お話しを聞きました。



## チャリティーボウリングで支援継続

**Q** チャリティーボウリングはどのように開催しましたか

**A** 自分がやっている店（立ち飲み屋いどや）の常連客を中心に声をかけて参加を募りました。年の瀬の忙しい時期でしたが21名の申し込みがあり、1チーム3名として計7チームによる対抗戦（2ゲームの合計スコア）での競技としました。最終的にはチームと個人でそれぞれ上位を表彰しました。スコアをつける上で女性と子どもにはハンデを設定したので、女性の方も個人の部で上位に入り喜ばれました。

### 協賛の輪が広がって大きな力に

**Q** 今回のチャリティーで工夫されたことは

**A** 1人5千5百円の参加費から2千円をチャリティーにしたことに加えて、フットサルの時のように趣旨に賛同してもらった会社や個人から協賛金を募りました。その協賛金だけで20万円近くになったのが大きかったですね。個人の協賛金は、お店にポスターを貼り出して一口2千円で募ったところ、たくさんの方々が協力してくださいました。また、以前から協力していただいていた会社関係

に加えて、お客さんの紹介で協賛してくださった会社もありました。そのほか、会場でのドリンク販売やお店でしている「おつき募金」1年分も加えました。

**Q** 参加された方々の反応は

**A** 参加者の3分の2位はお店の常連さんとその家族や知り合いだったので、皆さんとても楽しんでいました。子ども連れの夫婦、若いカップルなど60歳代くらいまでの方が参加されました。フットサルよりも手軽なボウリングということで、女性参加者が多かったことも良かったと思います。また今回は参加できなかったけど、次は参加したいという声を多数聞くことができたのも嬉しかったです。私も初めて参加できました！（笑）

### ボウリングは参加しやすいと大好評

**Q** 今回、李さんが良かったと思うことは

**A** わずか1カ月前の告知にも関わらず多数の参加者と多くの協賛金を頂くことができ、当初の想像を超える支援ができたことが何より嬉しいです。チャリティーをするにあたって協賛金を集めることはやはり大切だなと思いました。それとフットサルの時からずっと応援を続けてくれていた方たちが、今回は自分たちも参加して楽しんで寄付ができる参加型のチャリティーになったので、ボウリングにトライして良かったなと思います。次回はもっと早く告知して、できれば秋頃に30、40人規模で開催したいです。



賞品のいどやさんの食券をゲットして遊ぶ参加者と李さん



●●● チャリティー企画などのご相談は、ハンガーゼロ各事務所まで。親善大使によるコンサートもできます ●●●

ロングライフは、  
**「ヘルス&ナチュラルビューティ」**  
みなさまに「健康」で「美しい」人生をご提供するための  
ラグジュアリーなサービスをご提供いたします。

**私生活を健やかに愉しむ。**  
好きなことを楽しんでいただくために、  
パーソナルな運営メニューなどで  
お一人おひとりの健康を日々サポート。

**食から人生をより豊かに。**  
旬の食材を使って作る美味しい料理は、  
最高の長寿薬に近づけます。  
人生100年時代のための食事をどうぞ。

**年齢を重ねてこそ美しく。**  
いつまでも自分らしく輝き続けるために、  
パーソナル美容アドバイスなどで  
人生をものごと、もっと楽しく美しく。

ロングライフで、  
もっと素適に！ずっと楽しく！

*Health & Natural Beauty.*

皆様のセカンドライフに寄り添い35年 35

私たちロングライフグループは、  
ハンガーゼロの活動を応援しています。

国内外268のサービスステーションを展開  
人生は、まだまだ楽になる。

**ロングライフグループ** Resort & LongLife  
2006

大阪本社：〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階  
東京本社：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

☎ 0120-550-294

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは大阪事務所まで

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

## ハンガーゼロ

### 「愛知事務所」が移転

名古屋 YWCAビル6階

4月1日よりハンガーゼロ愛知事務所が名古屋市中区の名古屋YWCAビル6階に移転しました。新事務所は地下鉄栄駅から徒歩3分、JR名古屋駅から地下鉄で10分と交通の便がよく、また名古屋 NGO センターなどが入居しており、情報交換や交流の場になることも期待されます。



#### 【新住所】

〒460-0004

名古屋市中区新栄町2-3

名古屋 YWCAビル 6F

TEL :052-265-7101

FAX :052-265-7132

※ TEL・FAX は変更なし

### 備えてますか? 非常食

救缶鳥 Jr 24 缶セットのご案内

オレンジ、ブルーベリー、ストロベリー味の3種類が各8缶、計24缶のセットでお届けします。

1缶100g入り。

**1セット10,820円(税・送料込)**

お申し込み: (株)キングダムビジネス

スマートフォンはQRコードから

電話注文: 06-6755-4877



#### 【お支払い方法】

当社指定口座へ先払い

郵便振替 00950-0-216776

(株)キングダムビジネス

ご入金確認後約2週間でお届け。

賞味期限: 37ヶ月

2年半後、飢餓や災害に苦しむ人々に送

ることもできます。

右の囲み記事を参照ください。



本やゲーム CD の整理に

**本 de リンク** を活用ください

支援になります

愛知事務所では送られた本や CD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に使わせて頂いています。引越し、家財整理の際はぜひご活用ください。破れや汚れ、書き込みのある本、個人出版、文学全集、CD類割れ、ジャケット、歌詞カード不備など対象外となる場合もありますので、ご利用の際は**まず愛知事務所へお問合せください。**

#### ●お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大のため、3月に予定しておりましたバングラデシュ・スタディーツアー、ファシリテータートレーニングキャンプは中止させていただきました。

### 同志社香里が机と椅子をザンジバルに寄贈



同志社香里中学校・高等学校(大阪府寝屋川市)が机と椅子300セットをザンジバル(タンザニア連合共和国)に寄贈することになり、3月21日(土)の卒業式後に中学卒業生が教室から机と椅子の運び出しを手伝っていただきました。また、大阪キリスト教短期大学からのパソコン30セット、パン・アキモトの救缶鳥192ケース(パンの缶詰)も一緒に送られました。

### サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

|       |               |
|-------|---------------|
| 氏名    |               |
| (TEL) |               |
| 住所    | 〒             |
| 申込日   | 年 月 日 NL 357号 |

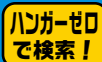
|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 下記から希望されるものをお申し込みください  |
| <input type="checkbox"/>            | ハンガーゼロサポーターとして協力します。<br>①毎月( )円 □(1000円)<br>②一時募金として 円協力します。 |
| <input type="checkbox"/>            | 継続募金(JIFH サポーター)として協力します。<br>毎月( )円 □(500円)                  |
| <input type="checkbox"/>            | チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。                  |
| <input type="checkbox"/>            | 郵便自動引落とし申込書を送って下さい。  |
| <input type="checkbox"/>            | その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。                                      |

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **4715** 口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>

eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)

フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構

②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1

(広島) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室

(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 名古屋YWCAビル6F

TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メソソク米202号

TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216

USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa

8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605

TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに817,938ポイント(円)のご協力(9433件)がありました。Tポイント募金で検索。

●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。